

AF-S DX Zoom-Nikkor 18-135mm f/3.5-5.6G IF-ED

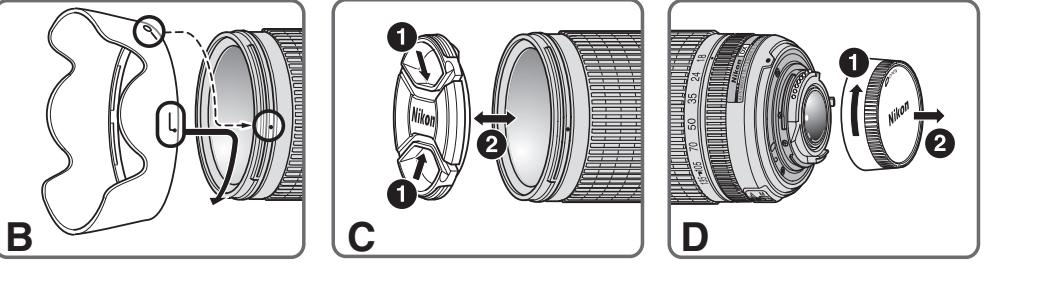
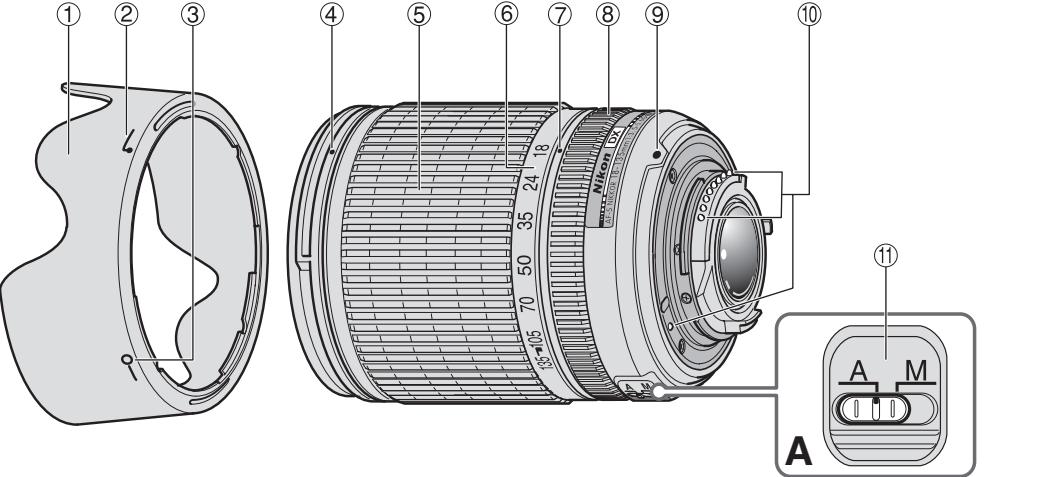
使用説明書
Instruction Manual
Buch der Anleitung
Manuel d'utilisation
Manual de instrucciones
Manuale di istruzione
使用説明書
使用説明書
使用説明書
使用説明書

CE

使用説明書の内容が誤謬などによって判讀できなくなつたときは、ニコンサービス機関にて新しい使用説明書をお求めください(有料)。No reproduction in any form of this manual, in whole or in part (except for brief quotation in critical articles or reviews), may be made without written authorization from NIKON CORPORATION.

NIKON CORPORATION
FUJI BLDG., 2-3, MARUNOUCHI 3-CHOME, CHIYODA-KU,
TOKYO 100-8331, JAPAN

Printed in Thailand 7MAA3280-06 ▲



安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みください。この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方につきでも見られる所には必ず保管してください。

表示について

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容をお示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および機器の損傷が想定される内容をお示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

絶表示の例

△ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるもので、図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は撮影場所)が描かれています。

○ 記号は、禁止の行為(してはいけないことを)を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分離禁止)が描かれています。

△ 警告

△ 分解したり修理・改造しないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

△ 落下などによって破損し、内部が漏出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。

△ 熱くなる。熱が出る。強い火などの異常時は、速やかにカメラの電池を取り出すこと
そのまま使用する火災、やけどの原因となります。電池を取り出せ際、やけどの充分注意してください。電池を抜いて、販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。

△ 水につけたり水をかけたり、雨にめらしたしないこと
発火したり電池の原因となります。

△ 引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと
プロパンガス・ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

△ レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと
失明や視力障害の原因となります。

△ 注意

△ めれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。

△ 製品は幼児の手に届かないところに置くこと
ケガの原因になることがあります。

△ 逆光撮影では、太陽がフレーム内に映ること
太陽がフレーム内に映ることによる原因があります。

△ 使用しないときは、レンズにキャップをつける(太陽光のあたらない所)に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

△ 三脚にてカメラやレンズを取り付けたり移動しないこと
転倒したりつけたりしてケガの原因になることがあります。

△ 窓を閉めた自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと
内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

日本語

このたびはDXニッコールレンズをお買い上げいただきありがとうございます。このレンズは、ニコンDXフォーマットのニコンジヤーレンズ(マクロDシリーズ、D300など)専用です。ニコンDXフォーマットでの撮影画角は、35mm判換算で焦点距離の約1.5倍の焦点距離に相当する画角になります。ご使用の前に、この「使用説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

主な特長

●レンズ内超音波モーター(サイレント・ウェーブ・モーター)を採用し静かなAF(オートフォーカス)撮影が可能になります。また、A/M切り換えスイッチによりAF(オートフォーカス)撮影およびMF(マニュアルフォーカス)撮影ができます。

●被写体までの距離測定をメタリックに伝達する機能を備え、的確な露出制御を実現します。

●二ゴンドロのED(特殊低分散)ガラスによる収差の補正とともに、非球面レンズや良好なボケ味を再現する円形絞りの採用により優れた光学性能、描写性能を発揮します。

カメラの取り外し方(カメラの使用説明書をご覗ください)

①カラバの電源スイッチをOFFにします。

②レンズの裏面に取外します。(図D)

③レンズとカラバのレンズ前蓋標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回します。このとき、レンズの前蓋の指標が真上にきます。(図C)

④レンズキャップを取り外します。(図B)

カメラからレンズの取り外し方(カメラの使用説明書をご覗ください)

レンズを取り外すには、カラバの電源スイッチをOFFにし、レンズ取り外しボタンを押しながら時計回りに回します。

●カラバの電源スイッチをOFFにします。

●レンズの裏面に取外します。(図D)

●レンズとカラバのレンズ前蓋標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回します。このとき、レンズの前蓋の指標が真上にきます。

●レンズキャップを取り外します。(図B)

カメラからレンズの取り外し方(カメラの使用説明書をご覗ください)

レンズを取り外すには、カラバの電源スイッチをOFFにし、レンズ取り外しボタンを押しながら時計回りに回します。

●カラバの電源スイッチをOFFにします。

●レンズの裏面に取外します。(図D)

●レンズとカラバのレンズ前蓋標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回します。このとき、レンズの前蓋の指標が真上に

